

神奈川県内広域水道企業団 人事異動の概要（平成 27 年 4 月 1 日）

1 人事異動に対する基本姿勢

当企業団は、安全で良質な「水道用水」を、構成団体（県、横浜市、川崎市及び横須賀市）を通じ安定的に供給することにより、県民・市民の生活基盤と社会経済活動を支えています。

これまで、事業運営の指針である「かながわの水道用水供給ビジョン」の実現に向け、「5か年事業計画」及び「財政計画」について着実な実施に努めてまいりました。

平成 27 年度は「5か年事業計画」の最終年度であり、次期事業計画等を策定するとともに、確実に耐震化事業や施設老朽化対策を実施することと併せて、水源水質検査の一元化及び水質事故対応の強化を図るための組織・人員体制とし、職員一丸となって、安全で良質な水道用水の安定供給を実現してまいります。

2 人事異動の時期 平成 27 年 4 月 1 日（水）

3 人事異動の規模

区分	昇任		転（兼）任等		併任・採用・再任用		退職等	
	事務	技術	事務	技術	事務	技術	事務	技術
部長級	1	1	—	1	—	—	—	—
副部長級	1	—	—	—	—	—	—	—
課（室・場・所）長級	1	3	1	—	—	—	1	2
課（室・場・所）長補佐級	2	2	2	4	—	—	—	—
係長・主幹級	3	3	12	27	—	—		1
副主幹、その他級	5	20	17	42	6	25	7	20
計	42		106		31		31	

《参考》昨年の状況 36 112 27 33

4 主な人事異動

（1）部長級

理事（特定課題調整担当）	森屋 剛〔総務部長〕
総務部長	市川 学〔技術部長（水道技術管理者）〕
技術部長（水道技術管理者）	佐藤 正志〔技術部副部長（兼）相模原浄水場長〕

(2) 副部長級

総務部副部長（兼）経営企画室長

平部眞公十〔総務部経営企画室長〕

(3) 課（室・場・所）長級

技術部相模原浄水場長

西澤 実晃〔技術部飯泉取水管理事務所副所長（所長補佐）〕

技術部社家取水管理事務所長

和田 幸夫〔技術部水運用センター副所長（所長補佐）〕

技術部広域水質管理センター所長

勝山 志乃〔技術部飯泉取水管理事務所所長補佐〕

議会事務局長

監査事務局長

総務部総務課文書・システム担当課長

有田 邦男〔総務部財務課資金担当課長〕

総務部経営企画室計画調整担当課長

菱山 直樹〔総務部経営企画室副室長（室長補佐）〕

5 人事異動の特色

I 事業運営の推進のために

(1) 広域的な水源水質管理体制の強化

～ 広域水質管理センターの開設 ～

神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の水道事業者及び神奈川県内広域水道企業団は、平成27年4月1日から、水源における水質検査の効率化及び水質事故の対応強化を図ることを目的として、水源水質検査等の業務を神奈川県内広域水道企業団において一元的に実施することといたしました。これに伴い技術部水質管理センターを技術部広域水質管理センターに改称いたします。(広域水質管理センターへの派遣職員の受け入れ(神奈川県1名、横浜市1名))

(2) 特定課題への対応

～ 理事の配置 ～

5事業者が連携して開設する広域水質管理センターと社家取水管理事務所、飯泉取水管理事務所とが相互に連携する必要があることから、これを担わせるため、広域水質管理センターに理事を配置します。

また、社会環境の変化に対応して、企業団の出資する団体との連携・調整を強化する必要があることから、解決すべき特定課題にも併せて取り組むこととします。

(3) 経営企画部門の強化

～ 計画調整担当課長の配置 ～

ビジョン、次期事業計画及び財政計画策定に当たって、各計画の調整を図る必要があることから、これを担わせるため、総務部経営企画室に計画調整担当課長を配置します。

II 管理職員の登用

係長・主幹級以上の退職者を踏まえ、次のとおり登用します。

- 係長・主幹級への昇任 6名

III 人事交流・人材育成の取り組み

神奈川県との相互派遣（〔受入〕課長級（事務）1名 〔派遣〕主幹級（事務）1名）

（公財）水道技術研究センターへの研修派遣（〔派遣〕主任主査級（技術）1名）

IV 採用と退職

- 平成27年4月1日付け新規採用職員

区分	事務	技術	計
I 種	5	15	20
III 種	-	2	2
計	5	17	22

- 平成27年3月31日付け定年退職職員

区分	事務	技術	計
定年退職	3	7	10

お問い合わせ先
神奈川県内広域水道企業団

総務部総務課長 大江
045（363）3942

総務部総務課職員係長 深井
045（363）4368